

別添1

## 令和3年(2021)年度カタクチイワシ太平洋系群の 管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人水産研究・教育機構並びに共同実施機関は、令和3(2021)年度カタクチイワシ太平洋系群の資源評価会議(2021年9月)をふまえ、2021年9月の研究機関会議で議論した管理基準値等について、以下の点を提案する。

### 管理基準値

- ・目標管理基準は、SB $msy$ で11.2万トン
- ・限界管理基準値は、SB0.6 $msy$ で2.8万トン
- ・禁漁水準は、SB0.1 $msy$ で0.3万トン

### チューニングパラメーター $\beta$

- ・ $\beta$ が0.9以下であれば、2032年に親魚量が目標管理基準値を50%以上の確率で上回る。

### その他

- ・通常加入期の再生産関係のパラメータ推定には、本系群の令和2(2020)年度資源評価で推定された1978~1987年および2010~2018年の加入量および親魚量を用いた。
- ・本系群の再生産関係としては、最小二乗法を用いて推定したベバートン・ホルト型関係式を適用した。
- ・本系群は寿命が短く、漁獲物の大半が0・1歳魚であるとともに、マサバなどの様々な高次捕食者を支える餌資源であることなどから、資源量や漁獲圧などの推定に加え、将来予測にも大きな不確実性があると考えられる。